

「科学技術政策特論」講義案内

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします



平成26年

7月11日 金

5 講目
16:30-18:00



工学研究院
オープンホール
[B-201]

第13回

軍備管理軍縮と科学技術

—包括的核実験禁止条約（CTBT）の事例を中心に—

外務省 軍縮不拡散・科学部軍備管理軍縮課長

野口 泰

野口先生からのメッセージ

軍備管理軍縮は東アジアを中心とした国際的な安全保障を確保するために重要な政策であるが、特に、CTBTは、世界各地の地震観測所等をネットワーク化することにより、北朝鮮の核実験探知に貢献するなど、科学技術を活用して国際安全保障に役立っているほか、こうした核実験探知のネットワークを活用して、地震津波予測、火山予知予測、放射性核種拡散予測等日常生活に役立つ情報も提供することができるといった側面も有している。国際安全保障及び日常生活に役立つCTBTを中心とした軍備管理軍縮の現状への理解を深めていただきたい。



野口 泰 先生

1990年3月京大法学部卒業後、4月より外務省入省。その後、本省ではODA白書の作成等の経済協力分野、2008年北海道洞爺湖サミット準備事務局次長、PKOを中心とした国際平和協力室長、メキシコ、中米・カリブ諸国を所掌する中米カリブ課長を歴任。昨年8月、軍備管理軍縮課長に就任。その間、2009年から11年にかけて内閣官房国家戦略室に出向し、成長戦略策定に従事。在外公館の勤務としては、スペイン、米国、ペルー大使館勤務。